## 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置	置認可年月	1日   村	長名		771 4007	所在地			
徳島医療福祉専	門学校	平成	戊5年1月1	4日 末	善守		771-4307 徳島県勝浦郡勝浦	<b>竹三渓字平128-</b> 1			
設置者名		設立	Z認可年月	目日 代	表者名	(電話)	0885-42-4810	所在地			
学校法人勝浦	学園		t5年1月1		本富治	〒 (住所)	771-4307 徳島県勝浦郡勝浦				
						(電話)	0885-42-4810		566	1 <del>11/1/ 11/ 11/ 11/ 11/</del>	·韦明
<u>分野</u> 医療		認定課程名 療専門課科		認定学科			門士認定年度	高度専門士認知	正年度		専門課程認定年度 は30(2018)年度
<b>区</b> 原										T19	(30(2018)平度
学科の目的				施できることを到達目 を目的とする。	目標とし、最短	豆の年限で高	i度・多様化する保健B	療福祉分野を担う、抗	深求心・向上	こ心を備えた	即戦力となる人材を
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	多く実施し	、実践力・即	戦力を養し	ハ、卒業後すぐに現均	易で活躍する	ことができる	教員による高度な知識 。多職種連携を図れる □を育てることを目標と	人材育成のため、心	理学をベー	スとした自己	分析やグループワー
修業年限	昼夜	全課程の修		な総授業時数又は 立数	<b>浴</b> 誹	講義	演習	実習	美	<b>ミ験</b>	実技
3	昼間	※単位時間、単 かに記入	単位いずれ	3,550 単位時間	2,340	) 単位時間	0 単位時間	1,210 単位時間	C	) 単位時間	0 単位時間
年		N'I C BLX		108 単位	78	3 単位	0 単位	30 単位	C	) 単位	0 単位
生徒総定員	生徒爭	€員(A)	留学生	数 (生徒実員の内数)(B)	留学生語	割合(B/A)					
120 人	84	Α		0 人	C	) %					
	■卒業者		:	37		Ÿ					
	■就職希	望者数 (D) 数 (E)	<u>:</u>	33		<del></del>					
	■地元就	職者数(F)		20		人					
	■就職率 ■就職者		元就晚老/	100 D割合 (F/E)		%					
	■小小明	に口める地と	767%和联1日♥	61		%					
	■卒業者(	こ占める就職	議者の割合	(E/C) 89		%					
お映集の出海	■進学者			0		人					
就職等の状況	■その他										
	なし										
	(令和6年	度卒業者に	関する令	和7年5月1日時点	の情報)						
	l	職先、業界等	等								
	(令和6年度		-1'-1 A.E		5. <del>c</del> r5 + +			101/170万字	-> 4- 4-	t	·
	介護老人  なのはな行	保健施設す 徳島、林内和	たちの遠 科、水の割	1、鴨島病院、小松! 8記念病院. 美摩痕	島病院、木ル 5院、朴のホ	50なたクリ スピタル、f	ニック、田岡病院、T. 尹予病院、おおぞら症	AOKAこころの医療1 i院、平成脳神経外に	センター、彼 科病院、松	8島健生病 山リハビリラ	院、甲洲八不病院、   テーション病院、ここ
		センター五色		11-11-10-11 11-11	31301 12-5	,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	7,701	1777704 1-		
		評価機関等 、例えば以下					無				
第三者による 学校評価	次有の場合	、別えは以下	について田	总配料							
一次計画		評価団体:			受審年月:			価結果を掲載した ームページURL			
 当該学科の											
ホームページ	l										
	https://to	okushima-iry	you.ac.jp/	gakka-sagyo							
URL	https://to	okushima-iry	you.ac.jp/	gakka-sagyo							
URL	·	bkushima-ir <u>y</u> 立時間による		′gakka−sagyo							
URL	·		算定)	gakka-sagyo					3, 550	)単位時間	
URL	·	立時間による 総授業時数	算定)	gakka-sagyo 等と連携した実験・3	実習・実技の	授業時数				)単位時間 6 単位時間	
URL	·	は時間による 総授業時数	算定)			授業時数			1, 016		
URL	·	立時間による 総授業時数	算定)	等と連携した実験・3 等と連携した演習の4		授業時数			1, 016	単位時間	
URL	·	立時間による 総授業時数	算定) うち企業等 うち企業等	等と連携した実験・3 等と連携した演習の4	受業時数		実技の授業時数		1, 016 0 1, 016	6 単位時間 9 単位時間	
URL	·	立時間による 総授業時数	算定) うち企業等 うち企業等	等と連携した実験・3 等と連携した演習の打 受業時数	受業時数	験・実習・			1, 016 1, 016 1, 016	6 単位時間 9 単位時間 6 単位時間	
	·	立時間による 総授業時数	算定) うち企業等 うち企業等 うち必修打	等と連携した実験・ 等と連携した演習の対 受業時数 うち企業等と連携(	受業時数 した必修の実 した必修の演	験・実習・3	数		1, 016 ( 1, 016 1, 016	)単位時間 )単位時間 )単位時間 6 単位時間	
企業等と連携した 実習等の実施状況	·	立時間による 総授業時数	算定) うち企業等 うち企業等 うち必修打	等と連携した実験・ 等と連携した演習の利 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	受業時数 した必修の実 した必修の演	験・実習・3	数		1, 016 ( 1, 016 1, 016	6 単位時間 9 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 9 単位時間	
企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	(A:単位	立時間による 総授業時数	算定) うち企業等 うち企業等 うち必修技	等と連携した実験・ 等と連携した演習の利 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	受業時数 した必修の実 した必修の演	験・実習・3	数		1, 016 ( 1, 016 1, 016	6 単位時間 9 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 9 単位時間	
企業等と連携した 実習等の実施状況	(A:単位	立時間による総授業時数	算定) うち企業等 うち必修材 (うち企ま	等と連携した実験・ 等と連携した演習の利 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	受業時数 した必修の実 した必修の演	験・実習・3	数		1, 016 1, 016 1, 016	6 単位時間 9 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 9 単位時間	
企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	(A:単位	な時間によるる 教授業時数 総授業時数 総授業時数	算定) うち企業等 うち必修打 (うち企ま)	等と連携した実験・ 等と連携した演習の利 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	受業時数 した必修の実 した必修の演 ターンシップ	験・実習・ 習の授業時 の授業時数	数		1, 016 1, 016 1, 016 (	6 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 9 単位時間 9 単位時間	
企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	(A:単位	な時間によるる 総授業時数 が記しまる の数による の数による の数による の数による の数による の数による の数による の数による の数による の数による の数による の数による の数による の数による の数による の数による の数による の数による のかる のがる のがる のがる のがる のがる のがる のがる のがる のがる のが	算定) うち企業 <sup>等</sup> うち必修打 (うち企事 (うち企事)	等と連携した実験・3 等と連携した演習の対 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したイン・3	受業時数 した必修の実 した必修の演 ターンシップ	験・実習・ 習の授業時 の授業時数	数		1, 016 1, 016 1, 016 0 0	6 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 9 単位時間 9 単位時間	
企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	(A:単位	な時間によるる 総授業時数 が記した。 を対している。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし	算定) うち企業等 うち必修打 (うち企ま 定) うち企業等 うち企業等	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したイン・ 等と連携したイン・ 等と連携した実験・3 等と連携した演習のも	受業時数 した必修の実 した必修の演 ターンシップ	験・実習・ 習の授業時 の授業時数	数		1, 016 1, 016 1, 016 ( ( ( 108 28	6 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 9 単位時間 9 単位時間	
企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	(A:単位	な時間によるる 総授業時数 が記した。 を対している。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし	算定) うち企業 <sup>等</sup> うち必修打 (うち企事 (うち企事)	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したイン・ 等と連携したイン・ 等と連携した実験・3 等と連携した演習のも 受業時数	受業時数 した必修の実 した必修の演 ターンシップ 実習・実技の 受業時数	験・実習・3 習の授業時数 の授業時数 授業時数	数		1, 016 1, 016 1, 016 ( ( ( 108 25 ( 25	5 単位時間 5 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 0 単位時間 1 単位時間 5 単位 5 単位 5 単位	
企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	(A:単位	な時間によるる 総授業時数 が記した。 を対している。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし	算定) うち企業等 うち必修打 (うち企ま 定) うち企業等 うち企業等	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したイン・ 等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携し	受業時数 した必修の実 した必修の演 ターンシップ 実習・実技の 受業時数	験・実習・! 習の授業時数 の授業時数 授業時数	数 ) 実技の授業時数		1, 016 1, 016 1, 016 ( ( ( 108 25 ( 25 25	5 単位時間 5 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 1 単位時間 5 単位 5 単位 5 単位 5 単位 5 単位	
企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	(A:単位	な時間によるる 総授業時数 が記した。 を対している。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし	算定) うち企業等等を対して、 (うち企業等等を必修打できる) うち企業等等を対して、 (うち企業等等を必修打できる)	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したインク 等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し	受業時数 した必修の実 した必修の演 ターンシップ 実習・実技の 受業時数 した必修の演 した必修の実 した必修の実	験・実習・! 習の授業時数 / の授業時数 授業時数 総・実習・! 習の授業時	数 ) ) 実技の授業時数 数		1, 016 1, 016 1, 016 ( 1, 016 (  1,	5 単位時間 5 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 0 単位時間 5 単位 5 単位 5 単位 5 単位 5 単位	
企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	(A:単位	な時間によるる 総授業時数 が記した。 を対している。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし	算定) うち企業等等を対して、 (うち企業等等を必修打できる) うち企業等等を対して、 (うち企業等等を必修打できる)	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したイン・ 等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携し	受業時数 した必修の実 した必修の演 ターンシップ 実習・実技の 受業時数 した必修の演 した必修の実 した必修の実	験・実習・! 習の授業時数 / の授業時数 授業時数 総・実習・! 習の授業時	数 ) ) 実技の授業時数 数		1, 016 1, 016 1, 016 ( 1, 016 (  1,	5 単位時間 5 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 1 単位時間 5 単位 5 単位 5 単位 5 単位 5 単位	
企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	(A:単位	な時間によるる 総授業時数 が記した。 を対している。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし	算定) うち企業等等を対して、 (うち企業等等を必修打できる) うち企業等等を対して、 (うち企業等等を必修打できる)	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したインク 等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し	受業時数 した必修の実 した必修の演 ターンシップ 実習・実技の 受業時数 した必修の演 した必修の実 した必修の実	験・実習・! 習の授業時数 / の授業時数 授業時数 総・実習・! 習の授業時	数 ) ) 実技の授業時数 数		1, 016 1, 016 1, 016 ( 1, 016 (  1,	5 単位時間 5 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 0 単位時間 5 単位 5 単位 5 単位 5 単位 5 単位	
企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	(A:単位	立時間による数 総授業時数 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	算定) うち企業等等 括 で 金 企	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したイン・ 等と連携した大演習の 受業時数 うち企業等と連携した 受業時数 うち企業等と連携したイン・ 要な要した。 でも実験である。 でも実験である。 でも実験である。 でも実験である。 でも実験である。 でも実験である。 でも実験である。 でも実験である。 でも実験である。 でもまり、これである。 できまり、これである。 でもまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 でもまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これである。 できまり、これできまり、 でき	受業時数  た必修の実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のので  大を表したといるといる  「は当	験・実習・! 習の授業時数 / の授業時数 接・実習・! 職務を ・ を での授業時数	数 ) ) 実技の授業時数 数	質第1号)	1, 016 1, 016 1, 016 (  1,	5 単位時間 5 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 0 単位時間 5 単位 5 単位 5 単位 5 単位 5 単位	
企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	(A:単位	な時間による数に表現しています。 な数に大業時数 「ないで専門質とは、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、	算定) うち企業業業 等 社 を企業 等 等 社 を企業 等 等 社 を企業 等 等 社 を企 を を を 企 を を を を を で で で うううう ちん 必 修 が が ま で で で で で で で で で で で で で で で で で	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携したイン・ うち企業等と連携したイン・ 等と連携した実験・3 ちを企業等と連携した演習の を要業時数 うち企業等と連携したが、 でを要素時数 うち企業等と連携したが、 は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	受業時数  た必修の実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のので  大を表したといるといる  「は当	験·実習·! 習の授業時数 授業時数 験·実習。!! の授業時数 (専修学	数 実技の授業時数 数 ) 校設置基準第41条第1項		1, 016 (1, 016	5 单位時間 5 单位時間 5 单位時間 6 单位時間 8 単位時間 8 単位 位時間 8 単位 6 単位 6 単位 6 単位 6 単位 6 単位	
企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	(A:単位	立時間による数 総授業時数 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	算定) うち企業業業 等 社 を企業 等 等 社 を企業 等 等 社 を企業 等 等 社 を企 を を を 企 を を を を を で で で うううう ちん 必 修 が が ま で で で で で で で で で で で で で で で で で	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携したイン・ うち企業等と連携したイン・ 等と連携した実験・3 ちを企業等と連携した演習の を要業時数 うち企業等と連携したが、 でを要素時数 うち企業等と連携したが、 は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	受業時数  た必修の実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のので  大を表したといるといる  「は当	験·実習·! 習の授業時数 授業時数 験·実習。!! の授業時数 (専修学	数 ) 実技の授業時数 数 )		1, 016 (1, 016	5 単位時間 5 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 7 単位時間 7 単位	
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)	(A:単位	な時間による数に表現しています。 な数に大業時数 「ないで専門質とは、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学担当では、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、	算定) うち企業業等 批 (うちを企動を) (うちを企動を) (うちを必修を) (うちを企動を) (うちを必修を) (うちを企動を) (うちを)	等と連携した実験・3 等と連携した演習の打 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン・ 等と連携した演習の打 要業時数 うち企業等と連携した演習の打 要業時数 うち企業等と連携したが、 同様とで変異的である。 は、これでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	受業時数  た必修の実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のので  大を表したといるといる  「は当	験・実習・宇 習の授業時か の授業時数 授業時数 験・実習・時 の授業時数 (専修学	数 実技の授業時数 数 ) 校設置基準第41条第1項	頁第2号)	1, 016 (1, 016 1, 016 (1, 016	5 单位時間 5 单位時間 5 单位時間 6 单位時間 8 単位時間 8 単位 位時間 8 単位 6 単位 6 単位 6 単位 6 単位 6 単位	
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) に記入)	(A:単位	立時間による 放慢業時数 が数による な数授業時数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	算定) うち企業等等 技術 (うちん) (う	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン・ 等と連携した大演習の を要ける。 を要はある。 うち企業等と連携した大演習の を要はある。 までは、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、これでは、できる。 は、これでは、これでは、できる。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	受業時数  た必修の実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のので  大を表したといるといる  「は当	験・実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	数 ) 実技の授業時数 数 ) 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第2号) 頁第3号)	1, 016 1, 016 1, 016 (  1,	5 単位時間 5 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 6 単位時間 7 単位時間 8 単位 9 単位	
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)	(A:単位	立時間による数 放授業時数 心数によ乗時数 のでは専門第 のでは、 の	算定) うちの業等等担 っちらのの大学校当の大学校学位教諭 ていた。 ないますでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン・ 等と連携した大演習の を要ける。 を要はある。 うち企業等と連携した大演習の を要はある。 までは、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、これでは、できる。 は、これでは、これでは、できる。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	受業時数  た必修の実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のので  大を表したといるといる  「は当	験・実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	数 実技の授業時数 数 ) 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第2号) 頁第3号) 頁第4号)	1, 016 1, 016 1, 016 ( 1, 016 (  1,	5 单位 位	
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) に記入)	(A:単位	立時間による 数による 数には 表 の は で を の に の に の に の に の の に の の の の の の の の	算定) うちの業等等担 っちらのの大学校当の大学校学位教諭 ていた。 ないますでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン・ 等と連携した大演習の を要ける。 を要はある。 うち企業等と連携した大演習の を要はある。 までは、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、これでは、できる。 は、これでは、これでは、できる。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	受業時数  た必修の実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のので  大を表したといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといると	験・実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	数 実技の授業時数 数 か 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第2号) 頁第3号) 頁第4号)	1, 016 1, 016 1, 016 1, 016 1, 016 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	第一年 単単位 は は 単単位 は は は は は は は は は は は は は は	
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) に記入)	(A:単位	立時間による数 数数による数 を受ける。 な数に表する。 な数によります。 な数によります。 な数によります。 な数によります。 ながりによります。 ながりによります。 ながりによります。 ながりによります。 ながりによります。 ながりまする。 ながりながりまする。 ながりながりながりながりながりながりながりながりながりながりながりながりながりな	算定) うちの業等等担 っちらのの大学校当の大学校学位教諭 ていた。 ないますでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン・ 等と連携した大演習の を要ける。 を要はある。 うち企業等と連携した大演習の を要はある。 までは、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、できる。 は、これでは、これでは、できる。 は、これでは、これでは、できる。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	受業時数  た必修の実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のの実演で  大を必修のので  大を表したといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといると	験・実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	数 実技の授業時数 数 か 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第2号) 頁第3号) 頁第4号)	1, 016 1, 016 1, 016 1, 016 1, 016 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	5 単位 中間	
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) に記入)	(A:単位	立時間による数には、 な数に大きいでは、 な数に大きいでは、 な数に大きいでは、 なが、 なが、 ないでは、	算定) うううう 化学 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携したイン・ うち企業等と連携したイン・ 等と連携した実験・3 うち企業等と連携した大演習の うち企業等と連携した大演習の うち企業等と連携した大演習の うち企業等と連携した人変 でする企業等と連携したイン・ 果程を修す事業務に従事 はなる者 なる者等 経験者 専門職学位	受業時数 という 大変 という 大変 という	験・実習・! 「の授業時数 授業時数 授業時数 「一般を受力を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	数 実技の授業時数 数 ) 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第2号) 頁第3号) 页第4号) 页第5号)	1, 016 1, 016 1, 016 1, 016 1, 016 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	第一年 単単位 は は 単単位 は は は は は は は は は は は は は は	
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)	(A:単位	立時間による数による 数はに な時間による数に な機響に を必要に な機響に をの課して でで門理して のでででは のででできる のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のででできる のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のででできる のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のででできる のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のででできる のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のででででででででは のでででででは のでででででででででで	算定)	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携したインク ま等と連携したインク をと連携した大演習の をと連携した大演習の をと連携した大演習の をと連携した大演習の をと連携したインク のである。 は、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	受業時数 という 大変 という 大変 という	験・実習・! 「の授業時数 授業時数 授業時数 「一般を受力を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	数 実技の授業時数 数 か 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第2号) 頁第3号) 页第4号) 页第5号)	1, 016 (1, 016	第一年 単単位 は は 単単位 は は は は は は は は は は は は は は	
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)	(A:単位	立時間による数による 数はに な時間による数に な機響に を必要に な機響に をの課して でで門理して のでででは のででできる のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のででできる のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のででできる のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のででできる のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のででできる のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のでででは のででででででででは のでででででは のでででででででででで	算定)	等と連携した実験・3 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携したイン・ うち企業等と連携したイン・ 等と連携した実験・3 うち企業等と連携した大演習の うち企業等と連携した大演習の うち企業等と連携した大演習の うち企業等と連携した人変 でする企業等と連携したイン・ 果程を修す事業務に従事 はなる者 なる者等 経験者 専門職学位	受業時数 という 大変 という 大変 という	験・実習・! 「の授業時数 授業時数 授業時数 「一般報報」である。 「一般報報」である。 「一般報報」である。 「一根報報」である。 「「本格学」である。 「本格学」 「本格学」 「本格学」 「本格学」 「本格学」 「本格学」 「本格学」 「本格学 「本格学」 「本格学 「本格学 「本格学 「本格学 「本格学 「本格学 「本格学 「本格学	数 実技の授業時数 数 ) 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第2号) 頁第3号) 页第4号) 页第5号)	1, 016 (1, 016	6 单位時間 9 单位時間 6 单位時間 6 单位時間 8 単位 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 実践的かつ専門的な職業教育を実施していくために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握と分析を行い、これを理学療法士 作業療法士学校養成施設指定規則の別表第1並びに別表第2に基づく教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・ 工夫等を含む)に活用していくために必要となる事項について定めることを目的とする。

## (2)教育課程編成委員会等の位置付け

企業等との連携を確保して、医療専門課程の教育課程の編成を行うため、本校教職員および企業等の役員または職員その他の委員により組織される。

## (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
末善 守	学校法人勝浦学園 徳島医療福祉専門学校	平成29年4月1日~在職期間中	·
伊勢 和彦	学校法人勝浦学園 徳島医療福祉専門学校	平成31年4月1日~在職期間中	
仁木 半	学校法人勝浦学園 徳島医療福祉専門学校	令和2年4月1日~在職期間中	
森口 智恵美	学校法人勝浦学園 徳島医療福祉専門学校	令和2年4月1日~在職期間中	
田野 聡	公益社団法人徳島県理学療法士会	令和6年4月1日~令和8年3月31日(2年)	1
細川 友和	一般社団法人徳島県作業療法士会	令和6年4月1日~令和8年3月31日(2年)	1
若松 正人	医療法人道志社小松島病院	令和7年4月1日~令和8年3月31日(1年)	3
吉本 大志	医療法人養生会TAOKAこころの医療センター	令和6年4月1日~令和8年3月31日(2年)	3
ツチョのほこの問には	人衆体チョの担人には   チョの廷回のこれ以下の	へ ののいぜんにまりよりかきませんて	- 1.

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、3月を開催時期の基準とする)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月22日 14:00~16:00

第2回 令和7年3月25日 14:00~16:00

#### (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

実習受け入れ施設側、資格団体からの意見を聴取し、カリキュラム内容を精査し、講義、臨床実習のあり方について検討する。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

# (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドラインに準拠している。社会的ニーズの多様化に対応した臨床的観察力・分析力を養うとともに、治療計画立案能力・実践能力を身につける。学年ごとに段階的に臨床実習を配置し、学内における臨床演習を行った後に、幅広い分野を経験できるように実習施設の配置を行う。

## (2)実習・演習等における企業等との連携内容

理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドラインの要件を満たす臨床実習指導者のもとで、段階的に目標を定め実施する。最終到達目標を基本的な作業療法を実施できることとし、臨床実習指導者と本学科教員が連携して指導に当たる。実習中は臨床参加型実習の形態をとり、実習終了後に症例に関する報告書を担当教員と共に作成し、知識と技術の再統合を行う。実習施設との連携においては、2・3年次の実習先への教員による訪問や臨床実習指導者連絡協議会を年1回開催している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

(0) )([[ 43 0.22 33 45 [] )([ 1	7日 数に 20·CIGIC及的な3行日に 20·C記載。						
科 目 名	科 目 概 要	連携企業等					
発達機能治療学	保育所実習を通して定型発達を学修する。	勝浦みかん保育園					
職業関連活動論	施設見学をとおして施設の役割や具体的業務内容と就労支援の実際を理解する。						
見学実習	臨床実習指導者の指導・監督のもとで、典型的な障害特性を呈する対象者に対する作業療法を見学し、作業療法の役割を学ぶとともに、倫理観や基本的態度を身につける。	徳島赤十字病院、小松島病院、田岡病院、TAOKAこころの医療センター、 杜のホスピタル 他					
評価実習	臨床実習指導者の指導・監督のもとで、典型的な障害特性を呈する対象者に対して、改善課題整理と目標設定、必要なプログラム立案ができるように評価能力を身につける。	徳島赤十字病院、小松島病院、田岡病院、TAOKAこころの医療センター、 杜のホスピタル 他					
総合臨床実習	臨床実習指導者の指導・監督のもとで、典型的な障害特性を呈する対象者に対して、障害像の把握、治療目標及び治療計画の立案、治療実践並びに治療効果判定を実施することができる。	徳島赤十字病院、小松島病院、田岡病院、TAOKAこころの医療センター、 杜のホスピタル 他					

## 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

## (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

研修は、教員に職務と責任の遂行に必要な知識、技能等を習得させ、その他その遂行に必要な教員の能力、資質等を向上させるこ とを目的とする。研修は計画的に参加し、教員は自己の執務能力や指導力、教育力等の向上に努めなければならない。(学校法人勝 浦学園 徳島医療福祉専門学校教職員の研修に関する規定)

#### (2)研修等の実績

|--|

精神障害分野専門委員会研修会 連携企業等: 奈良県作業療法士会 研修名:

期間: 令和6年4月13日 対象: 作業療法士他

内容 OTIPM理論の理解

連携企業等: 奈良県作業療法士会 研修名: 精神障害分野専門委員会研修会

対象: 作業療法士他 期間: 令和6年4月19日

OBP2.0理論の理解 内容

精神科OTチャリティーセミナー 連携企業等:精神科OTチャリティー実行委員会 研修名: 対象: 作業療法士・他職種・学生

令和6年5月25日~26日 期間:

内容 集団の利用法、精神科評価の基本、児童思春期に対する精神科OT、自殺と自傷行為について

第33回四国作業療法学会 研修名: 連携企業等:四国作業療法士連絡協議会 令和6年6月8日 対象: 作業療法士・他職種・学生 期間:

内容 地域共生社会について、脊髄損傷患者に対する就労支援、発達障がい児に対する支援から見えたリアルな現状

精神障害分野専門委員会研修会 連携企業等: 奈良県作業療法士会 研修名:

期間: 令和6年6月15日 対象: 作業療法士

内容 Allen認知能力障害モデルの精神障害領域の実践

連携企業等: 奈良県作業療法士会 精神障害分野専門委員会研修会 研修名:

期間: 令和6年7月20日 対象: 作業療法士

統計入門~これがわかると論文が面白く読める!~ 内容

OTのための組織マネジメント研修② 連携企業等: 徳島県作業療法士会 研修名:

令和6年8月2日 対象: 作業療法士 期間:

内容 課題の発表、職場内の現状を確認しよう、課題を見つけよう

令和6年度徳島県立総合看護学校 教員研修会 連携企業等: 徳島県立総合看護学校 研修名:

期間: 令和6年8月5日 対象: コメディカル

IPEのはじめかた・すすめかた 内容

OTのための組織マネジメント研修③ 連携企業等: 徳島県作業療法士会 研修名: 令和6年9月2日 対象: 作業療法士

期間: 課題の発表、業務改善項目を選ぼう、業務改善実行計画書を作成しよう

内容 研修名: 第1回徳島県作業療法士会学術研修会 連携企業等:徳島県作業療法士会

期間: 令和6年10月4日 対象: 作業療法士

内容 VUCAの時代に必要な力と教育に求められること

連携企業等: 徳島県作業療法士会 研修名: OTのための組織マネジメント研修④

令和6年10月7日 対象: 作業療法士 期間:

課題3の発表、やってみよう(説明、実行)、振り返ってみようの説明 内容

第2回徳島県作業療法士会学術研修会 連携企業等: 徳島県作業療法士会 研修名:

期間: 令和6年12月4日 対象: 作業療法士 内容 Coaching事例検討会

令和6年度徳島県介護認定審査会委員研修(現任) 連携企業等:徳島県長寿生きがい課 研修名:

期間: 令和6年12月2日(月) 9時30分~12時30分 対象: 介護認定審査会委員

Web講習:介護認定審査会に関する留意事項について 講師:松川竜也氏 内容 OTのための組織マネジメント研修⑤ 連携企業等:徳島県作業療法士会

研修名: 令和7年3月29日 対象: 作業療法士

期間: 実践・取り組み結果の振り返り

内容 ②指導力の修得・向上のための研修等

第37回教育研究大会·教員研修会 連携企業等:全国リハビリテーション学校協会 研修名:

期間: 令和6年8月30日~31日 対象: 養成校教員

テーマ「ナラティブと最先端医療教育の融合」 研修会、教育講演、特別講演他 内容

令和6年度全国リハ四国ブロック研修会 研修名: 連携企業等: 全国リハビリテーション学校協会 四国ブロック

期間: 令和7年3月18日 対象: 養成校教員

テーマ「中退防止策について」 内容

(3)研修等の	計画		
	プロロ こおける実務に関する研修等		
研修名:	第59回日本作業療法学会	連携企業等:	日本作業療法士会
期間:	令和7年11月7日~9日		作業療法士他
内容	作業療法の価値を高めるエビデンスの創出		<u>-</u>
研修名:	第34回四国作業療法学会	連携企業等:	四国作業療法士連絡協議会
期間:	令和7年9月14日~15日	対象:	作業療法士・他職種・学
内容	学会テーマ『たいけん・けいけん・つながるけん』		
研修名:	第21回徳島県作業療法学会	連携企業等:	徳島県作業療法士会
期間:	令和7年12月14日	対象:	作業療法士・他職種・学
内容	未定		
研修名:	学術研修会		徳島県作業療法士会
期間:	未定	対象:	作業療法士
<u>内容</u>	未定	\ <del>+</del> 1# \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
研修名:	認定作業療法士研修会		日本作業療法士協会
期間:	未定	对家:	作業療法士
内容	管理·運営法	<u> </u>	口士佐娄康法士协会
研修名:	認定作業療法士研修会		日本作業療法士協会
期間:	未定 身体障害分野	刈家:	作業療法士
内容	- 好体障害分野 	<b>油推入娄笠</b> .	日本作業療法士協会
│ 研修名: │ 期間:	能足作未像法工研修会 未定		口本作来原因工励云 作業療法士
朔间:   内容	本足 老年期障害分野	刈水.	1F未保広工
研修名:	- セーカルドロガリ - 令和7年度介護認定審査会委員研修	<b>油堆企業</b> 生.	
期間:	未定(12月~1月頃)		介護認定審査会委員
内容	未定	<b>∧1 ∧</b> 1.	月段心是宙直公安兵
	・バス 多得・向上のための研修等		
研修名:	第38回教育研究大会·教員研修会	連携企業等:	全国リハビリテーション学校協会
期間:	令和7年10月18日~19日	対象:	養成校教員
内容	テーマ「ナラティブと最先端医療教育の融合」 研修会、教育講演、特別講演	<b>運他</b>	
研修名:	令和6年度全国リハ四国ブロック研修会		全国リハビリテーション学校協会 四国ブロック
期間:	令和8年3月17日	対象:	養成校教員
内容	未定		
研修名:	教員研修会		全国リハビリテーション学校協会
期間:	未定	対象:	会員校教職員
内容	未定		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を 行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

## (1)学校関係者評価の基本方針

本校と関係の深い外部評価委員の方々と、自己評価を通じて得られた学校運営や教育活動に関する成果や課題を共有し、それらに 対する評価や助言を行っていただくことで、自己評価の結果の客観性と透明性を高めるとともに、これを機会に得た意見を学校運営の 改善と教育の質の向上に活用していく。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念•目標	教育理念·目的·育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

#### (3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価の結果は、本校を外部から見た客観的な評価であり、今後の学校運営や教育活動を考える上で極めて重要な情報で ある。各部門(総務、教務)における問題点の把握、改善の方向性と対応、将来構想などの検討に大きく寄与している。職員会議の席 上で内容の周知を図り学科運営を行うように努めている。

令和6年度 学校関係者評価結果の活用状況(主なもの)

教員のスキルアップは学園の教育力の向上につながる。認定・専門療法士や学士・修士の取得増を更に進める支援体制づくりを期待 している。SNS上で話題となり多くの人の注目を集めるために、学生を運営に参加してもらいそのアイデアや流行を取り入れてみてはど うだろうか。地元勝浦町の小・中・高校との交流を取り入れてみてはどうかなど (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
市川 公雄	本学園評議員	令和6年4月1日~令和8年3月31日(2年)	評議員
松村 茂		令和7年4月1日~令和8年3月31日(2年)	元高等学校長
宮川 智	本校後援会	令和6年4月1日~令和8年3月31日(2年)	保護者
長尾 由香	本校後援会	令和6年4月1日~令和8年3月31日(2年)	保護者
岩朝 利雄	本校三渓同窓会	令和6年4月1日~令和8年3月31日(2年)	卒業生
若松 正人	公益社団法人徳島県理学療法士会	令和7年4月1日~令和8年3月31日(1年)	企業等委員
細川 友和	一般社団法人徳島県作業療法士会	令和6年4月1日~令和8年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: URL:https://tokushima-iryou.ac.jp/inform

公表時期: 令和7年6月1日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校運営や教育活動に関する情報を適切に提供し、相互間の対話の促進、連携による諸活動の充実、業界のニーズを踏まえた教育内容・教育方法の改善に努めることを情報提供の基本方針としている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	8/2 11 2 12 10 項目 この方心
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	校長名、所在地、連絡先、沿革、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	カリキュラム、取得を目指す国家資格、国家試験の合格実績
(3)教職員	学科教員情報
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取組み
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組み
(6)学生の生活支援	学生の生活支援への取組み
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、奨学金及び授業料減免等の修学支援制度の概要及び規則等
(8)学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己評価報告書の概要、学校関係者評価委員会の評価報告書
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

URL: https://tokushima-iryou.ac.jp/inform

公表時期: 令和7年6月1日

# 授業科目等の概要

	_			課程 作業療法	(学科)											
		分類	Į						授業方法			場	所	教	員	
	必修	選択必然	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学	授業時	単位数	講	演習	実験・実習			専	兼任	企業等との連
		115	扒			期	数	奴	義	Ш	· 実 技	Σ	71	Ħ	Ħ	携
1	0			心理学	心理学の方法を用いて理解するための基本的な事柄を授業で取り上げ、心理現象を様々な立場から理解 し判断するために必要な基礎知識を習得することを 目的とする。		60	2	0			0			0	
2	0			文学	子供が最初に接する文学である絵本を取り上げて、 その視覚的表現と文字表現とのメカニズムを明らか にする。また文学を享受する側のメカニズムを視覚 と聴覚の両面から明らかにする。	1 前	30	1	0			0			0	
3	0			教育学	「教育とは何か」について、保健・医療・福祉の分野と保育・教育学の分野との接点を探りながら、人間の成長と発達における教育の意義、学習指導や生活指導について学んでいく。	1	30	1	0			0			0	
4	0			社会学	個人と社会の関わりを学習することにより、現実の 社会が抱える諸問題を見通すとともに社会の中で自 分自身のよりよい生き方を選択していくという社会 学の目標達成に向けて学習する。	1 前	30	1	0			0			0	
5	0			物理学	人体の骨格や筋は力学と、血流や血圧は流体と、神経や心電、脳波は電気など物理学は医学の基本として重要なものであることを理解し、論理的にものを考える力を体得する。	1	30	1	0			0			0	
6	0			生物学	セラピストとして必要な生物学の基礎知識を広く学習する。体の恒常性維持、神経系とその働き、刺激と反応、生命の連続性についてDNA中心に分子生物学についても学習する。	1 通	60	2	0			0			0	
7	0			統計学	データのとり方、まとめ方、統計的推測の基本的考 え方を学習し、"統計学に基づく考え方"を養う。	1 前	30	1	0			0			0	
8	0			英語	英語の4能力(読む、話す、聞く、書く)を向上させる。	1 前	30	1	0			0			0	
9	0			医学英語	リハビリテーションに焦点を当てて作られたテキスト、医療現場を想定した英会話中心の補助テキストを用い学習する。	1後	30	1	0			0			0	
10	0			保健学 講義	定期的な運動による身体機能・構造の変化を主に運動生理学的な視点から概説し、生活習慣病の予防・健康づくりに関する身体の科学的側面を理解することを目的とする。	1 後	30	1	0			0			0	
11	0			体育学 講義	一過性の運動による身体機能・構造の変化を主に運動生理学的な視点から概説し、生活習慣病の予防・健康づくりに関する身体の科学的側面を理解することを目的とする。	1 後	30	1	0			0			0	
12	0			14年   天首	健康づくりに関する身体の科学的側面を理解することで、自らの身体・健康に対する意識を高めると同時に、具体的な身体活動の方法を実践することを目的とする。	1 前	30	1			0	0			0	

		 1										—
13	0	解剖学 I	筋骨格系について、人の動作を扱うために必要な人 体の構造を理解する。	1 前	60	2	0		0		0	
14	0	解剖学Ⅱ	感覚器系、呼吸器系、循環器系および消化器系について、人の動作を扱うために必要な人体の構造を理解する。		60	2	0		0		0	
15	0	解剖学Ⅲ	神経系の理解。中枢と末梢神経のつながりを把握し、身体の運動と知覚の理解を深める。	1 後	60	2	0		0		0	
16	0	生理学 講義	人体諸器官の正常な機能を理解し、これらの器官が統合され、どのように生命が維持されるかについて 学ぶ。また、適宜関連した細胞レベルのしくみにも 触れ、理解を深める。	1	90	3	0		0		0	
17	0	生理学 実習	1年次で得た生理学の講義内容について、実習において自らデータ取得および考察を進めることにより 深める。		45	1		0	0	0	0	
18	0	運動学 講義	運動学の学理的基礎に対する認識を深めるとともに、2年次に開講する運動学実習との連動によって、身体活動を科学的に解析する技能を修得することを目的とする。	1 後	30	1	0		0		0	
19	0	運動学 実習	1年次の講義内容を実習において深める。	2 前	45	1		0	0	0		
20	0	人間発達学	人の誕生から老年期までの生涯にわたる心身の成長・発達の概要を解説する。人の各発達段階における身体生理的特徴、心理的社会的発達の特徴、その援助のあり方を教授する。		30	1	0		0		0	
21	0	病理学	総論としてはできるだけ広汎に、各論においては理学・作業療法士が実際に接するであろう代表的な疾患について、具体的な事柄を詳しく教示する。		30	1	0		0		0	
22	0	臨床心理学	臨床心理学の基本的発想を理解する。一般目標:医療従事者として必要な臨床心理学的発想を理解する。	2 前	30	1	0		0		0	
23	0	一般臨床医学	病態生理と医学用語の解説、さらに一般臨床医学として、救急、外科、脳外科、皮膚、泌尿生殖器、産婦人科、眼、耳鼻咽喉科の疾患に焦点をあて、教授する。	2	30	1	0		0		0	
24	0	内科学	リハビリテーション医学を習得するために、高齢化 社会になりつつある今日において必要な内科学全般 の知識を学ぶ。		60	2	0		0		0	
25	0	整形外科学	リハビリテーションに必要な整形外科系の基礎・診 断・治療・疾患総論、必要な整形外科系の各論を教 授する。		60	2	0		0		0	
26	0	神経内科学	リハビリテーションに必要な神経系の知識を臨床面 から解説すると同時に、患者に接する基本的な態度 についても教育する。	2 前	60	2	0		0		0	
27	0	精神医学	精神医学は医学分野の中でも心の障害に関する学問である。身体医学との違い、精神医学の発展、様々な精神障害で出現する精神症状、精神障害の診断、予後、治療について学習する。		60	2	0		0		0	

28	0	小児科学	成長の各段階にある患者の生理的、心理的特徴を十分理解した上で、先天的な疾患や、身体的、精神的疾患、保健におけるトピックスなどについて解説する。		30	1	0			0		0	
29	0	老年学	本講義では老年者特有の疾患の病態や特徴、さらに 生活機能障害の評価について概説する。	2 後	30	1	0			0		0	
30	0	予防作業療法 学	予防医学、予防リハビリテーションの概念を理解したうえで、予防リハビリテーションにおける作業療法の適応範囲を検討し、作業療法士の役割を学ぶ。	1 前	30	1	0			0	0		
31	0	保健医療福祉 論 I	わが国における医療保険制度、福祉制度の概要、人口動態、平均余命、疾病構造の概要の理解を図るとともに、作業療法士に求められているニーズと役割についても教授する。	1	30	1	0			0	0		
32	0	保健医療福祉 論 Ⅱ	保健医療福祉の動向と対策について分領域別に具体 的に学び、事例を通して各領域の役割について理解 する。	3 後	30	1	0			0	0		
33	0		リハビリテーションを実施するうえで必要不可欠な 医療倫理学の基礎を学ぶとともに、障碍者を取り巻 く環境や、リハビリテーション医療についての問題 点を理解する。	1	30	1	0			0	0		
34	0	リハビリテー ション医学	セラピストに必要なリハビリテーション医学・医療の基本的な知識並びに考え方を学び、障害を診る心を育て、人々の生活機能の回復・向上に対応する医療・福祉を学ぶ。	2	30	1	0			0		0	
35	0	作業療法概論	作業療法の基礎知識。専門職としての作業療法士に必要な知識や技術、作業療法の過程、各領域の作業療法の実際、作業療法業務に必要な管理・運営を学ぶ。	1	60	2	0		Δ	0	0		
36	0	作業分析学	作業について一般的分析を用いて分析する。基本的な学習理論及び作業の指導法について学習する。作業が人に与える影響を学習する。		30	1	0	Δ		0	0		
37	0	基礎作業学実習	作業療法の様々な活動を治療手段として捉えるために、活動を経験する。また、経験した活動を治療的に応用する基礎として一般的な作業分析を経験する。	1 前	90	2	△	Δ	0	0	0	0	
38	0	作業療法管理 学 I	作業療法研究の意義や目的・方法について学び、症例報告の実践を行う。作業療法部門の管理・運営、作業療法実践における職業倫理やリスクマネジメントなどについて学ぶ。	2	30	1	0	4		0	0		
39	0	作業療法管理 学Ⅱ	作業療法研究の意義や目的・方法について学び、症例報告の実践を行う。作業療法部門の管理・運営、 作業療法実践における職業倫理やリスクマネジメントなどについて学ぶ。	3	30	1	0	Δ		0	0		
40	0	身体機能評価 学 I	身体障害に対する作業療法の運動器系機能評価の目 的を理解し、適合する検査方法と結果の解釈の仕方 について学ぶ。	1 通	60	2	0		Δ	0	0		
41	0	身体機能評価 学Ⅱ	身体障害に対する作業療法の神経系機能評価の目的 を理解し、適合する検査方法と結果の解釈の仕方に ついて学ぶ。	1 後	60	2	0		Δ	0	0		
42	0	身体機能評価 学Ⅲ	身体障害に関する症状や障害特性を理解し、評価項目の選択、利点と課題の抽出、目標の設定を学ぶ。 演習を通して評価項目の選択課題や利点の抽出について具体的に学ぶ。	2	30	1	0			0	0		

43	0	精神機能評価 学	精神科作業療法における評価を学ぶ。	1 後	30	1	0	Δ		0		0		
44	0	生活機能評価学	作業療法における「生活」の意義や視点、生活動作の構成要素について学習する作業療法対象者の生活 を評価するための評価技術を習得する。	2 前	30	1	0			0		0		
45	0	身体機能治療 学 I	脳血管障害、脳外傷、神経変性疾患、神経筋疾患などに対する疾患理解を深め、作業療法に必要な評価項目の選択、リスク管理、治療目標、治療計画立案の仕方を習得する。		60	2	0			0		0		
46	0	身体機能治療 学 Ⅱ	整形外科疾患や内部障害への実践的なアプローチを 学び、作業療法評価と基本的治療アプローチ、リス ク管理等について理解を深める。	2 通	60	2	0			0		0		
47	0	老年期作業治療学	老年期障害分野における作業療法の評価・治療につ いて学ぶ。	2 通	60	2	0			0		0		
48	0	精神機能治療 学	精神障害について具体的に認識し精神科領域における作業療法の視点、プロセスの概要及び治療構造、精神科領域における作業療法を疾患別に学ぶ。	2通	60	2	0			0		0		
49	0	発達機能治療 学	発達障害分野における基礎知識、対象疾患の障害像 を理解し、その作業療法評価や治療アプローチにつ いて学ぶ。	2通	60	2	0			0		0		
50	0	高次脳機能治 療学	高次脳機能障害に対する治療・援助の実践過程につ いて学ぶ。	2 前	30	1	0			0		0		
51	0	障害別生活活 動支援論	障害別に応じた起居・移乗動作パターンを学習し、 福祉用具や生活環境の工夫などの自立支援および介 護負担軽減の手技についても学習する。	2通	60	2	0			0		0		
52	0	作業療法臨床 技術論	関節可動域訓練や筋力増強訓練などの目的を理解し、その適合や実施方法を学ぶ。機能代償の手段としての上肢スプリントの適合技術を学び、作製課題に取り組む。	2	60	2	0		Δ	0		0		
53	0	義肢装具学	装具(スプリントを除く)の概要や代償的アプロー チについて学ぶ。	2 後	30	1	0	Δ	4	0		0	0	
54	0	臨床作業療法 学	身体障害や老年期障害、精神障害に対する作業療法 について、評価から治療への過程について理解を深 める。		30	1	0			0		0		
55	0	総合作業療法学	臨床実習の経験を踏まえ知識と経験の再統合を図 り、臨床現場で作業療法が実践できることをを目標 とする。	3 後	90	3	0			0		0		
56	0	地域作業療法 支援論	地域作業療法の実践のために、その根幹にある社会 背景や制度について学ぶ。地域作業療法における具 体的介入方法について学ぶ。		30	1	0			0		0	0	
57	0	生活環境論	車椅子体験実習を通じて、駅周辺のアクセシビリ ティとバリアについて考える機会を持ち、障害者の 生活環境について理解を深める。	1 後	30	1	0		Δ	0	0	0	0	

58	0				障害・生活ニーズ別の作業療法におけるさまざまな 福祉用具の適合についての知識・技術を学習する。	2 後	30	1	0			0		0		
59	0				就労支援に関する知識・技術を学び、職業リハビリ テーションでの課題を理解する。	3 後	30	1	0		Δ	0	0	0		0
60	0			見学実習	臨床実習指導者の指導・監督のもとで、典型的な障害特性を呈する対象者に対する作業療法を見学し、 作業療法の役割を学ぶとともに、倫理観や基本的態度を身につける。	1	80	2			0		0			0
61	0			評価実習	臨床実習指導者の指導・監督のもとで、典型的な障害特性を呈する対象者に対して、改善課題整理と目標設定、必要なプログラム立案ができるように評価能力を身につける。	2	240	6			0		0			0
62	0				臨床実習指導者の指導・監督のもとで、典型的な障害特性を呈する対象者に対して、障害像の把握、治療目標及び治療計画の立案、治療実践並びに治療効果判定を実施することができる。	3	680	17			0		0			0
	合計				62	科	月		1	08(	3550)	単位	立 (	単位	時間	1)

卒業要件及び履修方法	授業期間等				
卒業要件: 本校に3年以上在学して所定の課程を履修し、かつ、修得すべき授業	1 学年の学期区分	2 期			
履修方法: 定められた授業科目を受講し、規定の評価を得ることで認定を行う。	1 学期の授業期間	20 週			

## (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。